

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	17,377	15,625	13,327	0.85	・資料購入費が減少する中、選書会議等で調整しながら効率的な選書に努めた。 ・各館でテーマ展示や本に親しむイベントを実施し、貸出点数、登録者数、入館者数はほぼ横ばいにとどまった。 ・新規登録者数の増加は、平成30年4月から広域利用の範囲が広がったことによるもの。特に岩室図書館の登録が増加した。	・資料購入費削減は図書館にとって致命的である。ネットワーク全体では、選定漏れのないように留意していただきたい。 ・資料購入費減は手痛い、効率的な選書に努めていただきたい。 ・資料購入費の目標額を設定するとよいと思う。 ・新聞、週刊誌、月刊誌は原則として購入しない。(同人誌、地域誌は除く) ・絵画の貸出は有料にする。 ・新刊本の購入の斡旋取次をする。新刊本の購入は一冊に限る。 ・各館で借りている本のランキングの掲示をし、多く借りられている分野の本の充実を図る。 ・岩室図書館の登録増加はよいこと。
	蔵書点数(点):図書・AV	288,733	281,132	280,588	1.00		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	370,628	344,274	347,297	1.01		
	個人の登録者数(人)	12,112	12,050	11,358	0.94		
	(内新規登録者数)	1,241	1,124	1,332	1.19		
入館者数(人)	251,838	234,613	234,266	1.00			

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30目標	H30実績	自己評点	R1目標	評価(次年度への展開)		
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	8,288	9,808	9,850	8,524	2	8,900	・レファレンス件数の減少は、学校図書館からの問い合わせの減によるところが大きい。利用者へ向けでも、引き続き機会をとらえて広報に努めていく。 ・レファレンス受付の内訳をみると、団体からの受付件数が増加している。これは、団体貸出の拡大に伴い、放課後児童クラブからテーマに沿った本の依頼が増えたことによる。	・児童からの本の貸出が増えていることは一つの進歩だと思う。保育園、幼稚園にもそれが広がるとよいと思う。	
	個人予約件数(件)	49,409	47,875	48,000	48,344	2	48,000			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	—	—	—	—	—	—			
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」								自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	14,498	15,058	15,000	15,660	3	15,700	・郷土・行政資料は積極的な収集を続けた。 ・西川図書館では郷土資料コーナーをこれまでより目立つ位置に移動したことで、貸出冊数の増につながったと思われる。	・各館の職員の方もその地域を知ることが大事だと思う。 ・まち歩きガイドの方からも資料を利用、活用してもらおう。 ・目立つ位置、目に入りやすい位置はとても良いと思う。これからも工夫してほしい。	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	4,724	4,230	4,400	4,619	3	4,600			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	23	21	20	27	3	22			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	1	0	2	0	1	1			
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」								自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	104,513	96,775	100,000	97,491	2	99,600	・児童書の貸出冊数は目標には届かなかったが、前年度より増加した。団体貸出冊数の減少は、学校図書館の整備や支援が進んできたことが要因かと思われる。 ・地域の学校の職場体験やボランティア体験も積極的に受けるよう努めた。	3 大変評価する。 6人 75% 2 ある程度評価する。 2人 25% 1 評価できない。	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	6,085	6,021	6,100	5,285	2	5,800			
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	3,269	2,213	2,400	3,136	3	2,900			
	職場体験受入人数(人)	27	22	25	31	3	25			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	45	47	40	37	2	43			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	0	0	1	0	1	1			
	市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」								自己評価	外部評価
	図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,021	943	1,000	951	2	970	・図書館ボランティアの活動者数は目標には届かなかったが、前年度より増加した。引き続き図書配架ボランティアを受け入れる体制を整え、PRにも務める。 ・共催・協働事業の実施件数は前年度並みであった。今後も継続して実施していく。	3 大変評価する。 5人 63% 2 ある程度評価する。 3人 37% 1 評価できない。	
	ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	0	0	2	0	1	2			
	利用者の意見を把握する機会の設定(回)	3	3	2	2	2	2			
共催・協働事業の実施件数(件)	18	19	20	18	2	18				
効率的・効果的な運営(職員)								自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	176	165	165	159	2	165	・司書のスキルアップのため、様々な研修に参加することができた。 ・3月には認知症に関する職員研修を実施し、多くの職員が認知症の知識を高めることができた。	3 大変評価する。 6人 75% 2 ある程度評価する。 2人 25% 1 評価できない。		

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った